
小説という名の縁に

マカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小説という名の縁に

【Zマーク】

Z3655A

【作者名】

マカ

【あらすじ】

小説に出会えたことを感謝をしよう。

(前書き)

これは小説じゃないです。詩みたいなものです。
因みに縁は『えん』ではなく『えにし』と読んでください。

私は小説を読むのが好きだ。

小説に出会ったのは中学の頃だ。それまで私は活字と書つものが好きではなかつた。というより、嫌いに位置していた。

読む切欠になつたのは元々テレビ好きだった私が見ていたアニメの原作が小説だったと言つことだけ。ほんの気まぐれにすぎなかつた。なのに、気まぐれは趣味にすれていつた。

高校に入つて初めて小説を書くことに対しに出会つた。

この頃まで小説を書くことに対して意識を向けることはなかつた。たまたま友人が趣味で書いていることを知つて、自分もやつてみようと思つた。やることもなかつたから、これもただの気まぐれだつた。しかし、気づけば読むことより楽しさを感じて生活の一部に組み込まれていた。

今、小説を書くことに喜びを感じ、小説を読んで頂くことで幸せを貰え、書き手同士で話すということに感激した。

だから、感謝をしよう。小説に、小説を書くことに魅了された方たちに、小説を読むことに夢中になる方たちに、交流を可能にしてくれた方たちに、顔も知らぬ書き手たちと会話ができることに、書き続けることができるこここのサイトに出会えたことに、小説という名の縁に、限りない感謝を。

ありがとうございました。これからも私は小説を書き続けます。

(後書き)

この話はチャット中に出了^{えでた}縁の話を題材にしました。
皆さまへの感謝の気持ちです。これからもよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3655a/>

小説という名の縁に

2010年10月10日07時04分発行